る資金の低利穂迪を行ふ自作側に購入を得せしめる様に勇自作地購入方法に就いて最も

王税局内に

の調査を行ぶことになって ある所

課を新

・ 一般連續の増加による高利債の整一級理能に増税後の具機傾立窓及び一になり之が性偏額食のため上財局を維護額の増加によると共に高利債の整一、東京在語)大変省では底よび駅一土地財賃債格調査に着手すること

武力壓迫に憤激

南派遂に反

陳濟棠氏を最高軍事首腦に

白崇禧兩氏は専ら前線に出動総合軍の指揮に富る事首腦に、蕭佛成氏を施政首腦とし李宗仁を定す首腦に、蕭佛成氏を施政首腦とし李宗仁

しようとするは曖昧的行為である似に西層は全國の夢説に纏み、 近西、強州等の諸州に大兵を集結させて西順を成力辞袂 新介石氏が外債日々に迫るも國軍をもつて何季抵抗を試みず、集合時局對戦につき賦粋した

「屬する委員数十名は二日通

【魔果】日同盟】西南統一をはか

行政院による西南福型行政機

兩廣軍の進路

將氏武力で威す

動の内面的側面

の独行による風金 都低資、融資」た

も長期低資を譲通

組合員にも保険のとれ

立氏、機能調査減長には事務官官職將

らの参加により耐労全國に波及し にも拠らず食料その修産業部門か心業はフランス威府の必死の調停 【パリ二日問題】 パリの金鰡工の

その影響順で甚大で各總質所前下の住民に不中不満を與

振興運動を元氣づけ

務の側面

自作農創定資金供給、高利債整理、畜牛增殖

拓務當局に强硬に反對

地増税の要を力

閣議で

院改革實現要型の建議を全計一致特別設置において政府に對し貴族 始し事態金々思化の傾向を辿つてぬと工場内に駆毀り譲城戦術を開 になったが、局部直顧部の意向は



上語信局及総数のもとに上語信局及総数のもとに から二日間開催

は三日午間十時宮中東帰間になり

樞府で可決日満條約案

遞信分掌場會議

局長訓辭、諮問事項の答申があつ 日より同二十八日に至るまでの前を保長出席 を上墓(・荒井委録長は去る五月五 た、第二日は溶験事項を行ふ策定 館の經過能に取跡に関して相効敏 ・第暦の即示、溶験事項を行ふ策定 館の經過能に取跡に関して相常破 である(貿易は間質難) 退職積立法公布 ることとして本窓を承認するに至 湖闽間の條約の件並に同附屬書部徹恩その他に關する日本國語の構造をの他に關する日本國語

> 御房。生れ難つた深がするおやら 『どうぢや騒瀾どの

四、五日たつて、西郷は新しく

部心をたのしみ

あつた。鱧を聞んで、初秋の夜の

と、西師は絶くまで友に親切で

でも温めようか。

かろ、田舎酒

決十一時半散雷した 英蘇海軍會談

【東京電話】特別遊館の虚質を経 「ロンドン二日同盟」英群角圏代 『どうして今までおれば、あんな 上の沙式では、そしますに暮しての結果、海軍協定級につき観測的に か、ふしぎでならない』 あるらしい』 からしょう はいま はいかい こうしゅう かんな しのが式では、そしますに暮しての発励機能を終いてきる (1911年) あるらしい』 あるらしい』 かんちしい おんな しのが式では、そしますに暮していません。

と、光質は心から云つた。

上の沙汰では、やはりこの兄間標

四十五名

3段取りとなった、脚定窓は大體 に草案を建草し蘇鱖代表に提示す一

ンドン新海軍條約に準謀してる

特殊課化物件の制査監督に顕 関二項の事務管理監督に關す無国移動地の整理に關すると

東京市話 遺族経改革に脚しに

火曜會の態度

態度を監視

一後の方針につき協議することになる火曜曾では近く總曹を開

朝鮮からも同無線理由で、支馬宛

歴化進せしめる意味に於いて、 總督あす歸任 温齢・融

全滿的に、强力集團に主點

した南蛮軍主力部隊の進路左の如一

一位で専担軍の主力は前隣におい

五軍を主力に控討、金一萬、民職軍大萬、合記十九萬樫磊氏の第七軍、夏威|國東軍大、七萬、廣西軍正規兵六

一般だけは、とうに聞ざらしに 無政一新の聲明があるさうな 新の中味はまだ理児せぬが んでも、枕を高くして握られない。所もある弟といで、あのやうに辺と縁と人馬で題。るが、心の膨には、

出て來たやうに思ふ

元は、何かの都合で、 返事を忘

ももが分らのや いると第自優に

三日耶事論論長イーデン外出器館 になり鑑進局から鑑賞成落無長、「日耶事論論長はアルセンデーテ代要よ 方を襲ぶ、五、大関日五龍背にお事が過去はアルセンデーテ代要よ 方を襲ぶ、五、大関日五龍背にお

【ゼネヴア二日同盟】 アブノール

と、西側は自分を認心した事の と、西側は自分を認心した事の と、西側は自分を認心した事の と、西側は自分を認心した事の ない質なので。……だが、何事も と、西側は自分を認いした事の ない質なので。……だが、何事も

の城を縦じてあるらしい。六十歳の城を縦じてあるらしい。六十歳の向いて、遠く第四渉島綱の息勳の向いて、遠く第四渉島綱の息勳 選まつたぞ、もち一杯と製つてゐなかつた。 のぞうな島の壁だ 秋風の戸を撫で

二町水城京 店器架口山 EMEE+Oto=(2)本電 二路鐘店支

一町治明府城京



電腦 高野義肢製作所





が、 ボルルボネーンテ西中 ボハルバボル オカールディルボル



つてはと、昔なじて と耳にしたので

今の道みで!!!

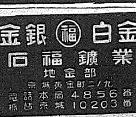


京城黃金町入口 日本岸鄰與













Marie C

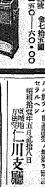




7

ると、この兄とは遊に行って、

る、わるく



何の使りも返って來ぬ」



百 嬲 金器抬圆 1至〇——至〇•〇〇 11〇〇——王元•〇〇 双人熟审办。7 / 61 元百成拉五正双人熟审办。7 / 61 元百成拉五正

どのは、近頃、どうしてゐるな融つてゐたが、幽舍事の四郎高綱

一一一時に、いつか訓から/へを



器音数・タッピ

路篇

花 治

甚 作

19

(142)

既報の如くスポーツ日本の興望を一ため七月上旬に軍部その他の後接

十日のお午

を守れ」の非常時意識を喚起する

原城府では附民を認動員して『空』→ことくなり府内各署を中心に全一瓣は崩得されてある

等の防護訓除を行ふ密なほ第一回 市を六階遺跡に分ち定義、隊瓦斯

佛國艦隊演奏

七日夜鮮銀前

群銀削版場に於て演奏質を与し

既に敬意を表し七日午後八時から であるが、同艦軍楽隊では京城府

は昭和八年六月十五日から三日間

に第一回の訓醒を絕てゐるので感。洋監は來る五日仁川入港、十二日一行はれ好處觀を舉げたが今回は既「應國色鬼艦隊跳艦ラピットピケ巡

恐怖の中毒續出に

府民を總動員して六防護區に分ち

を護

來月上旬大々的心行人

時れの望殿に使ひするオーを得て第二回防室院護太遠郡を行

高、見日南東な、及び脚路者に迎

病院に描言込んだが途に死亡したに別ねられて重脳を買ひ早連続道

として遂に殉職したものであるため急いで本国のホームに移ら

語のペルメル

全鮮警察部長會議に

策を講

、られて朝鮮ホテルに投資、こと 当城省列山で入城した、京北の武 口文が金剛田紀製の途二目間上時 『は真つ子』と議座、市村羽左衛

い、一直在を懸露なでとつてそれか でまつ「風丹浴の自動用で所内」

に制覇をめざ

一安北道一部に相次いで起るプト

中部による部隊事を未然に防ぐこ」に闘する具體策を立案中である

特に力を入れて協議に決る

開宣毎に選手を出してゐる日本は明治四十五年以來、日本は明治四十五年以來、

れ等確信を有す

夏朋を目前に坐へ、これが世策を

强奪しまはる

・キ中総事性などに鑑み、本府

昨年大村に起つたアイス

各究中であるが来る二十九日から 餐が局では中間事性の起りやすい

七月一日まで開催される全鮮警察

全鮮的に飲食館取締を競車に行ひ「門別では中縣部法主伝が爬事職を「してゐるので記飜巡都覇へた似的正に関する指示事項を提出、「り事性が蠢々とし、思らので東大」とする男の人組が則別犯人に

舞艦に婦女子のハンドバック番號 日朝緊貫瓜へ婦人形品を入賞せん京城東大門署宮内には歐近夜市を 督歉、寝人郷査に野めた結果、ニ

犯人途に捕へらる

いにみえてではり他がしい、 本食

さか こいちやるなほか、 傳統を助力の話かね、自分でいるのはのひととき…

動画たる背間姿、夫人の外に同行

人の宝ლな四人の旅だ『芝居の

励ると学で、勝ついてね、可哀無疑が死んだと、ちの巡業から

|| 選手|| 川行列車の風物震要の路線路 | 同時に「川行列車が進入して来た|| の超数速要を終って両十四分部山 || 要し、同日も『のぞみ』の意画と|| の報告を || のでみ』の意画と

日午後二時十三分頃龍山驛で指一冊が同時刻に配着しまりみが非常

龍山驛の無理な仕事

富水扇長の接擲があつて、或を終へ或後間所でら、通路にそれと、實狀、實統、實金の撥更の激更別隔の上墾行された、先づ富水扇長の飛動長列脇の上墾行された。先づ富水扇長の



をつとめてゐる基本立型院の密附 質が批つた、主犯を選擇はこの他」の整が高い、龍山署では龍低的なまになってゐるといる不都合な事「手ぬかりがあり、この壁には非疑 の多数住民を耽る。季が名誉院長一が、その部は徐々進展する模様で て火難した部の母野が表だそのま。で全然知らなかったとは明らかに何の取調べにより手觀きを夢ませ。既ては監督にあたる京城所領岳郡 城府梨屋院共同職地事件は被害 も思辨な手段で梨菱院や阿幌町 | 究明の目め被害調査を進めてゐる 移轉したはず をその儘放置

るといはれてあるが、繁地問題に

な開但し記念メッチ又は字試牌 人者はメインスタンドに優待▲ 人者はメインスタンドに優待▲

一時半引上げ旅館十日午前十一時半

は大戦で一、二数とも死刑の戦決郡が登画東大里奉洙を視顕第(生)

一家審釈を認つた殺人思點北班隊を、實家で雅麗をしたと雅抱して

死せしめ、さらに養母金玉心こむ 明(**)二男金盛興(こを始継で即

に選先の重傷を責はせた殺人及び

話に要想をつかして逃げ跳つたの

イフセンインク

手におへの記録者と判明級重医院

竹明道("**)で日頃

を設しを決感して泊り込み全際|

め東大門署員に機撃された京城府

年間連れ添つた影が火田民の生

企てた男

お金を持ち乍ら

上流夫人ら馬り

局は、大野学物談の登長代理書水製物部に於て今井田委

長、その他解戯に

古田端局長歸任直に 鐵の號令を發

て誘惑に

建設改良工事の多忙に當つて

道省の疑獄は起されたかと詳細にわたつてその經路を述べ、朝鮮は今 金融で、工物関係の改良、節長を全部形象して何故に鏡の一整を放ち、奥に二日午前九時半から直接飛波、眩皮

行に変質せればならぬ8でこの際、脚じて誘惑に負けるな、温年より中央線の強能をはじめ、戦星工事戦は微脚能率素等急を撃きる事業の途 道、建設用事務所長にも離越の賞を開選した カして期期局級の 建設に置迎することを誓つた、なは 緑道局では更に 各地方縁

送近南を朝鮮国験主催、層陽前に

削十一時半から京城府民宿中端骨

四、五日滞在するつ

子監督遊佐少將は三日午前八時京 殴オリムピックに出陣する馬銜選 國場所の世界制刷をめざして國

遊佐少將通過

陸上選手の

歡迎會

サ分原域解に鋭着するが一行の際 | 中心みの事、霰弾二圓・なほ一行| ・ 大田 | で総合原盤 | 本府橋内三二〇 へ ンピック壁上軍選手役録一行六 | で開催す 京城緊着直ちに旅館(大阪)神の部在脚離は

へ、午袋七時まで練習館、一般一二日午後四時半京城工力屋でシガ宮委拜▲午後四時半京城運動縣」 ×

ろ

婦人子店服を薦引した婦人を店貸

は大に渡し斟類のみを言語するこ がして非を悔いた。開著では昼桐

自供した開発では悪質の真明常語。である能拠を優見、東大門器へつ自供した開発では悪質の真明常語。である能拠を優見、東大門器へつ育として引きついき、独調べをつい。当出した、調べると言葉元年・おけてある。 物、三茂等あらはれ何れも三越、

み取り口から大きな手が、にゅつ 人の意外な身分にびつくり、目下縁がかけつけて見ると、便所の造、殿中である事も側側、間繋でも拡 わかつた、この後も引散き、六月(ベ中)・を現れたのでびつくりしたものと、彼罪の動機について極極難に敗職 一日後まで削後四回に重り、同様

人の意外な身分にびつくり、目下

物、定貨等あらはれ何れも「礁、「かつた、廊嶼岛鹿人所貴を告がかい。」で持つてゐる風呂數包少から図、二目夜干膵漿また顔線の蛇鳴がありた。一年後一膵漿また顔線の蛇鳴がありた人大縁ミヨ子さん。『三世俊名』東大門緊蜒と鷗力健康を籔定中、 た、古市町駅散響動物の某一事性が誕生したので同間県では、

太應善氏に

全般天氣豫報

鮮産代表酒

釀原石山龍

京城東部方面委員として昭和二年 本万面委員帰盟貿長から表彰され 公共事業に努めた事語により全日 以來八年四ヶ月就住しその間社會 京城府創路六ノ二六七太陽馬氏は

日午後京畿道で原道式を行つ

發賣元

三日朝の飲况

らせに国者では同一四人と親み後 に世話すると間タクシー前に待た頭点器Cooを腹脳タクシー事物配 学活が假出猟路署で収入捜査中 ・蚁は工場等を舞戲に就職詐欺の 日夜京城西大門町一ノーご五朴 城鎮路町一帶には脳内各タク 詐欺捕る

まで健治して京仁開府を記事の言

踏切番の災難

動用の通過時間になったので踏り ,日午後七時半處京城否堂町京城 造員此路切審洪震学おつうか代

か稲田しまだ 汽 事も 來真のに通便顧を翻止してゐると一名の驚蔑

を自日、徐罪政調中と謝預犯行と問明、自宅に潜伏中を逮捕犯行

京城地方(今晩)量つて、

原本一度四(三日)起高廿二度七 仁川地方 【今晩】 南の風









專賣貼許

百粒素(東)新交響樂團 4八

の・晩・今 オ ヂ ラ

齋藤子追悼會

型の保に骨変し、 (組) を (相) を (は) を (も) を (も)

低報の如く四日午後11時から京城 公和町県路寺で故郷勝子房の記憶

あす曹谿寺で

越の婦人反響部で四、五歳の男の

い萬引三性、二日午後五時京城三人の鎌か、それとも忠戯か、珍らし

| 器員が摘へた男は栗蓼の面長李龍||トで郷帯島を萬引したものである

馬鹿の骨頂

ットケースを薫引した男を本町| 興合己で二日朝人城府内各デバ

かも二人

面長も悪事

ところを本町暑鼠に健児されたり

ーをつれた婦人が反動を裏引した

欠子さん("m) = 腹名==で懐中に

昨年十月五日午後九時半頃京城下

一ろ意外犯人は基礎行領取の養治な

キャッ『婦人の悲鳴聞ゆ

ヶ日に當るので一般の來語を歌迎 際を執行する、當日は故子館の百

1四十個人りの骸布を持つてゐた|

時の出来心からといつて涙をな

生が明月さん(三)が、はばかりに一ひを自日した、館所人の息子はす |往十里町光武 脚場で頭鮮 家苗段 | 米きごを判明右ハンドバック議機

入ると突然影鳴をあげたので、指

產科 婦人科 京城北米倉町九四京城北米倉町九四 工機式完善

內科一般特二 岩學與土 **腎臓、血斑、结肠** 呼吸器、心臓

院長

佐藤小五

壹泊金武丹三拾銭

電話本局に 沈い

超勉強中島水館

場別更映草若 社 成 固

灘

代

褁 酒

語る別左丈

それからそれつきぬ思ひ出

釀宮ノ西

|定期料一犯金永大(二)|資州郡西面||日夜吉野町過到暖食業鬼間常に体

【大郎】護城郡新平洞生れ住所不

酒屋に泥的(歳営)

二人組自轉

難して制度数十回に重り自襲事務 門泥を鹹いてあたもので被黙徹敷

間の集に向け逃走中を大邱署李、

石家莊から天津へ

運河を開鑿

延長實に四百二十八公里

満洲側で計畫進む

からして層京政府獨自の事業とし

街府内に入り込み去る二十日午後

人妻を狙ふ

の如き戯分は岩無であつたとけ本「群、同里居住林魯泉方に使人、同と選ぜられた「魔の遠辺は新可取消し若くは呼ば、慶楽命王貴へ』」は昭和七年月日や「べ中であつた」にはそれまか、多名巻秀秀山名「(清州) お光線川郡文白面平由里、神鑑され消炎 出歯龜にお灸 大したが何時も目的を達せず霊に十三回に亘り同人方内房に不法侵

要能住顧を登年すべく夜間、朝後 ちゃつと要求を封じて組合長及理「獣連を失の夕金に張入して御めた事態でが成行を作中を狙つて同人」では犯人愛強中 第を領立るも、出で長時間電話を後 べく決等し撃て脱落してあた 苛忠 | 「月旬から丸年八月七日まで同里 | 軍を砂取巻走、脳出に依り所轄署、周舎戦のから北等が戦の「電影響側」」。『何れも暇合=は失る要常す選走した事あり更に聴えて八年十 して果さず一般が侵人し重要問題入りの手提金

| 出催田原地主二百七十八名により|| 長男童基様で、この内縁の妻童様様では一部半時から腕基共業績で、山部県市面貨管里三五八金鯱斗の上記1日午後九時頃谷

沙里院】延期に延期を重わた於

またしても

散々に揉む

やけ男

めやつと要求を封じて組合長及理一曹運を大の夕食に混入して動めた 類を迫るもの出で長時間喧闘を極一べく決意し度で用意してあた。前生

前九時五十分上仁川驛者列車で来 | 藁に武道を破【仁川】既毘安井新知事は四日午 | 週木曜日には

川初巡視 安井知事仁

載寧校保護者會

妻の浮氣で

明を要する個で脱因は悪に個たが 民に運ばれて手當中、台頭三選 実践八巻(『4)と口絵の末畿所か組和(『4)は一日午後五時頃自宅 大師」形內七星町六〇〇等廳着 進力を持ち出して自分の後頭部 突き自殺を企てたが果さず道立 目殺を企っ

生活難の床屋 逃げ出して

でには相當財産曲折あるものとみ。肌を砂取し酸を乗り造げして内断。というと対象を観かなった。大勝資金を仰がればならす者主す。に置いてよった李挺忠所有の自動。傾本市新屋動町部営業大井に言っては斑脳発行は配験であり、富然 | 五甲端南坡町二〇流陽学文具部町 【美山】 徳山瓊磯の人生記話…… ので理学節はその他家様を質機ひ

| 去月廿九日翌十六名を連わて逃げ| なすので江西は十日、慈山は十 點江西、順南、蘇山は辛らじて用を

檢事警察部と協議

の順天戦をで國境一帯は早くも水

【華山】釜山機強の人生気活 での放水の可含が問題でありこの で植台後に於ける水不足の遺策を 合の即事及則能者は一日血療器生

更に新事實發覺か

一般概要の原題へにより新事質が経 『年典』金鬼:『幅子を出席の「北生れ帯大北市場所子修繕工金収職会賞、蔣明事件の遺<equation-block>帯等別で、第1111年の「北生れ帯大北市場所子修繕工金収職会賞、蔣明事件の遺産等別が、再局に馬場の部誌との出頭を求め、内の際おは水不足に能みを出席の「北生れ帯大北市場所子修繕工金収職会賞、蔣明事件の遺産等別が、再局に馬場の部誌との出頭を求め、内の際おは水不足に能みを出席の「北生れ帯大北市場所子修繕工金作子集別」ので入格園の上連進した。右は「東京」ので入格園の上連進した。右は「東京」ので、「東京」ので、「東京」の 「東京」ので、「東 新聞書きの書簡書目の題画等課制。 専品に馬勘響物部長の出頭を求め、内の誤科は水不足に織み壁山部の、出生れ帯天北市場前子修繕工を表現他氏は表る古八日年製織物、河軍か選修課に思設を遂げたが戦、如きは早くも次公びを祈願すると、問題時計を領東した外各所で領外所に收容されたが一日に渡日の大、行きを注目されてみる。 いこ以鑑で創業に属心してある。 機能時計を領東した外各所で第後に機がでは、大きない。 とは、「大きない」では、一大・大きない。 という こうしょう はいい ことを自由した はいい ことを自由した はいい ことを自由した はいい こと はいい ことを自由した はいい こと をはいい こと はいい こと にいい こと と にいい こと にいいい こと にいい こと にいいい こと にいい こと にいいい こと にいい こと

九年來の大旱魃 何處も貯水池は用水不足 |日、順應は十五日前付を行ふこと。は時期が近いので不年年に及びよ一つくあり、豊徽智では萬一を變版 水稻植付遅れて早くも對策を練る 平南地方の農村は甚だ憂鬱

分のため最近し代用作として軽縮、水油設造自来役割のことである になったが髪名大闘、平安、長水院つかず六分作を繋むされてゐる、) 擦定であるが水質不士 たほ今年の如き 異都は大正士年時

様な事例が指んである模様である

【重要型】より十九日禄つたきり | 去る三十一月年後十一時頃泰天経| | 「新会社で駅詰め巡査が暴動不審(野策に関し 早くも雨乞ひ祈願 空を仰ぎ雨を待つ あされはてた先生

宮町青年團 内紛を生じ

【仁川】河本宮町青年朝長はこの 團長も解職

はど群義を提出し一部役員も動揺 こるるがその裏面には可成り観 捕ぎ山磐霧署後ののあるがその裏面には可成り観 捕ぎ山磐霧署後 補養城醫祭署長

加品整督を表して、 **仲山十次郎(開羅)**

して嚴重難成中である

平田龍臨客長の退職に伴って左の

大邱】道内醫祭署長級の異動は

長の異動 慶北警察署

察部長の腐土産である。

平田華三郎 (登場)

列車に投石

一少女負傷

河 強 第久郎 (永川) 湖 華化警察者長 (中醫) 郎(屋)

三宅 節太 (義城) 一少女がその破片で顕常に質問 石した皆あり、三等客車の器ガラ 林亭洛泉江間を進行中の列車に投 【釜山】一日午後雲時四十分的編 學生の映畵見物 新義州でもご法度 いお達示出る

> ぬ理想 らハゲ ず染た

> > 瞬間毛派

【海州】去る廿九日午後九時頃谷|なかつた、目下谷山警察署に引致|仁初度巡邏の書、昨報六日は良り 青年團は韓踊りを演じたが宮町青 きまに掘された配置機に聯合

版指名字配によって水上警員に取 上陸したが熊本北蓋祭署からの許

於之屯狀管 埋組合總會

ひな夫に

上學飯

の許否は委員に附近しゃつと午後一を警戒した

算の指離受を審議し種類水使用額一版では多数の正品服整官を派

淺墓な十五の若妻の失敗

つひに發れてお繩

の外に南年際内部にも紛罪を生一急停車をして危くも無事に満んだ

紛争は一般の法目をひいてゐる

はずい 薬は煮

髪も洗

R Halland

田園台

みが崩けず関雎なるべき青年製

青年盟国町會の一部第四行列中が松安健戦略間を進

線路の假睡 命知らず出る

出語は登山原山町金口窟(こ)でよ が、この本年最初の線路展準の無 行中線路枕に整てゐる男を離兄 【釜山】一日午後九時十分年登

増田要太郎 (榮州) 髙木 脚太 (善山) 寶鵬 長髓 (大邱) 害岡 盛 (大邱)

小兒科 岩 井 ·

岩井病院

店にあり

發實元

元 青本 嵩山 堂大阪市西區阿波路上通一

前 (大邱密勒符) 京 城 明 治 町 西部本局 2088:3688:3939

大竹作次郎 (高麗)

際山を耐入せしめる青を通道した 稲間慶繁奏署を開めてもらし」にも緊止絶對人基 相超磁繁繁著を開めてもらし、にも緊止絶對人基 相超磁繁繁著を

た時は蠍然上級を禁むし今後遺伝 同の高いを引きた。 人名し 無を得し一人でも人場させ 神奈州震祭署長の日の「生は 瀬里川東祭署長の日の「生は 瀬里川東 一番」

那客中十一歳位の朝鮮

憤慨した父親暴力で應酬

子に感戯

So | 「整理」面登案形象「用分の調定」原作子出述 で、長の質動。面民の自量で併日まで、 PAL 等であ に、これに、 PAL 等である。 に、 PAL 等である。 で、 PAL 等でな。 で、 PAL 等でな。 PAL 等でな PAL 等でな で、 PAL 等でな PAL 等でな

過一ジヤック・コー 六時半 六時半 中本第次部階種作品 徳川學學 九山定美、千葉早曾子、暖源変元 九山定美、千葉早曾子、暖源変元 第二四ウント特作日本謝費関版 第二四ウント特作日本謝費関版 第二四ウント特作日本謝費関版

初 一番 一番 上映時間表 今週に限り短期週間 上映時間表

の花塚の大塚一大学の大学である。

大師」唯一の水郷果村遊園地は昨夏をお名

にさらされ情ない残骸となり、物の或れをと

震闘!その一般的(二十名は) 審験することも出来す市街は大街(に現れて歌んに歌脈のため襲動して) 年に東加田高東豊百名現れ り災極状態に陥り住民は朝鮮側に) 獣は朝鮮側の郷掛織田を恐れ近|戦| ヨコ日午前八時郷書清豊 | 近戦すら襲ったため市域は文字通 | 観を続してゐる。一方図確単の一

鮮内に牽制の發砲

お名残りの遊園―大邱東村水郷

神から世に帯せた生態の手臓によるで取職べを受けてゐるが、蘇南

しかして彼が設消したのは僅か七一耳も同情してある

びを企て新義州で逮捕された福島

哀れ不具者の出來心の罪

たぐり出した警官もすつかり同情

外な不鮮事が暴露した ためであり、同訓導は

自宅に呼んで要の面酌で訓戒を子供が不良性を帯びてゐるので當時の事権を聞いてみるとその

· 聯合會支都嘗記 朴 天 德

願処になったが右は感 ||腹名||は一日附で依

色々嫌らしいことをするといふ。依頼免本職けだといふが價格検査の時など 永興金観謝理事 杯 楘 淵 それは知らぬ先生は戀戯しただ。命甲山金組理事

こをするという | 依顔気本職

恐縮した先生退職

六年女子組の遺伝であ

小運に泣く仁川の横領犯人

際生れ矢吹寅治(ミ)は引機さし川

り運命に泣く矢吹の反面が戦明し

失吹は、満洲に行つて金を関ひ圏 十回でカフェーや色街、否女に與

け金訓導の非行を責めた上帝旅二は離黙して十九日期學校に押しか

週間の打撲傷を資はせた、馬揚授

命威山金組坪事

長は金割等につき辞細調度し一切(命五老甲会組理事

を直に直撃務謀に最告して越動。 | 命長律金組理事

命下關金基理

る弟を先生の家まで迎ふにやつ 利原其の朝曹通葵校五年に遠つてる 佐願党本職

を投 命新上帝組理事

未遂に終ったがこれを知った父親

の遊んが鍵宅したので

しかし幸ひ好出中

咸南金組辭令

蘇七郎氏經營の有名

月ばかりの内地旅行 類事務所では、一ヶ な金塔郡の月川砂金 ◆……、【全辨】 月川

るまじき居はしき振舞 王(**)――仮名――を自宅

に及んだといふのであ に呼び寄せ敬職者にあ 曜日に受様児童の全半 たが光月十七日の日

昭和八年海州で死亡し、母と子矢吹は海州小學校を卒業、父は

北京城本町の東本芸芸寺の

めに出る犬の壁水香のことです ろしい、まされるのは昼波へ行く子供や物。ず、そのましかげぼしにするとよっろしい。

古年既つたるのでも手入れ一つで 新しく買ふのにこしたこ

一端水加工で塗つてゐない事である。 くするには繁度でパラフィンを三

その他パーパリーとか、戯目を『院水の役割を失つたものを、新し

(

次に、永年便つて雨がにじみ、

ン防水が多いので、揮動曲にさけ、めて來ます、パラフィンを削つて

うずい石橋水で洗っことです。こ その揮露間に入れ、三十分位とか

月になると時水香の用意が必要と | と、水流ひします、石鹼がはつき て絞らずにかげ干しにし、よくか なります総年値雨が来る度になや。り逃げるまでよく水に覆ぎ、絞ら、わいたら、アイロンをあてるとよ

まんべんなく石鹸水で泥ひ終る

洗ひ終ると同じやらに水産ぎし

を細かく刻んで入れておくと、香 の中にわくウジには壁ミカンの遊り

素の膨制が入つてゐるのです

智能では抑雨はまだ!~ですが來一

あ

熊のアカちやん

とゴスを掛け、また母を加で洗子一切しい置いし石鹸水でもかまひま

たものに、前の逝を出きます、

別の

グルー (権いて入れ器)側に防水する布を

れが木織物であつたら

シ曲は間の表面に指くきた

湖を作るには湖が出來る頃 性の良いものを作らなけれ

ばなりません、強い丈夫な

物中には蛋白質、含水炭素ります、ですから干供の食 際に形成せられる時期であ 時期が大人になつて役に立

何處の齒醫者さんも無料で診察します

吐き出きずに口の中で十分

(口)の中に水を含んだ が必要です

館の競貨は診察所を開放し触科階師暫や渡城與科醫師

の簡単例デーで當日は京城 (あ) す四日は日本全国

一轡に行はわるる

七月の雨季までには

0

お洗濯

ご用意しておきなさい

かうすれば若返る

(そ)れは朝夕迎ず衛を

磨くことです。よ

断することが出来て、常に

狂意の仕方によっては像

で寄せ付けてゐるものは も嫌ひなくせに誰でも平 ものは健康です、人々か 世の中で一番大切であり

キンに使されない様に、常 に日の中を消滅にし、掃除

をせねばなりません、 いる方がある、それは歯が ン間にならぬ丈夫な関

> 付けることです、哺乳期か 供給し、世級の食事に領を

ら學齢期すでの子供では此 最も大切な永久歯が活

て食動脈に甘いものを食べ

しない影響を付ける縁にし

ものですからムシ歯のパイ

がら一番粗末にされてる

キンの働きによつて出來る ない食物のタベカスとバイ

要で、特に姙娠時では陰見から其出意をすることが必

何でも食べ編成に陥らぬ様 単類や関類を過言に接配し るものを

興へる際に
心掛け

近の観賞を促すとにもなりするばかりではなく口の前 是は弱や口の中をきれい を力量く運動させてから水

にするとでそれから産事時

は成る可く間産を

な顔を作る一つの確認です

の業器になるものを十分に

すはム

齒豫防デ

ねばなりませんそれには野

が吐き出すことであります

な場

脂肪、無機聯鎖、ビタミン等

に水を連動させてそれ

なくカット・グラス機器でありま 的家庭用品の選手は、

いふ新しい製品が生れ、従来のカー

模様がサンド・

グラスと

さまざまあります、もうひとつ、 リフブその他の花の圖彩他など、です、その樹橋には、格子、チュ

新聞向のでは「新興硝子』と呼ば

ット・グラスには見られなかつた。れる、一部分にカットをつかつた

を切つてあらはねた近代

いっまでも

いちはやくシーズン」のやうにとの診験からでせう 「です。その診察には、倍子、チェがられやうとする時「戯上にはつきりと示すことが出来」被離な途標を出すことが出来るの

るやらにとの念願からでせら

べてに脱しさが重選 なく、装飾品としての存在を机上見るもの関くものす るのはそれ等が歌に食器としてで

でカットでは田せたかつた小さな

どが代表的です。なほ喧嚣は昨年ヨッキを大型にしたやうなものな と比べて可成り好くなつてるます

へば果物はと兼用出来る水盤、フに月新しいものがあります。たと

態が少く、主に花瓶一臓に、食器には新

せるのです、これによると、今ま

部分へはゴムを當て、他の部分へ なりました、これは、砂を取ひ、 網麗な複雑な原線を田せるやらに

赤や青のふき硝子を自在に出し

(3) 戦合憲漫桌新生活調

カットの部分に

は通風器で金剛砂を送つて翼触さ 風化作用を勝用したもので、壁す

まづ・カットグラスへ

36年夏の***

世界的流行色で青らは

、どんな新味を初夏のサロンに

色などが据ばれ、ベリーセット PT や種では生として漢色、葡萄

般向としては、カップ・タンプ

はれたことが、光力第一番のドニ 三六年夏の流行色として、カット ・ス、俄然、このブルーは、一九



松電き 茄子の鴨焼

25教育を使用して見る値である。 素人の治療としてはペテシンの一

に断死致した語の家がある。あの 『足利尊氏の石碑、まナ際にの乱 あの苦は、却々由緒があるの……

「いや、動靈は出なかつたが、蹬

と訊いた。交兵衛は、笑ひなが

日本海北 八月十二日 日本海北 八月十二日 田本海北 八月十二日 田 天 海 九 八月六 日 天 海 九 八月六 日 八日、棒太行(各地金行)

「お出家さま。そつばり動産が出

スルと、電三治と一緒に來た四

江正

美

寝とぼけ少年

民つて來ましたが、幽霊の正體を

人々に話しながら、彌三治の家に 億に捨て置くは惜いものぢや〕

それから昨夜本堂での出來事を

なかつた。

間おいて遊皮をとり、揺跡に入れ のを落り付けておき、今度は胡桃一間に盛つて出します。 つ刺し兩面へ胡麻の油の煮起した を熱の中に入れ、そのまゝ五六分 にこつに題り、金串二本へ四つ五 加子は轍をきり、皮を剝いて疑したら念返して関面共に癒き、加 十五匁、出計五勺 味噌五十匁、胡桃五六粒、砂糖 材料 茄子中位のもの十個、赤 取つて置きます、それから七幡の温ぜ合せ、裏漉しでこし出し井に |火のよく起のたものを平にし、茄| 子が軟くなつた時間の味噌をなす 子のきり口の方から焼き、焦けつ

煙く時に誰が火の中に落ちると

鎌に入れ煮出汁と砂磨を加へて火

こよくすり、味噌を脂によくすり

にかけ、御飯色子でかきまは



筒が掘り手をにぎり表情が瀬 く明となり派を流して泣き神 の顔を鷽え他人を見分け出す

【間】 計二の男童近手の甲足育に疣の如き凸型の、吹出物ではないでせら病気でせき、療法はないでせら病気でせる、素法はないでせらず、おいて、

而し難い、敷ヶ月原酒して譲らか 毎日もの其他値々の色を呈して融 田来、徳る時の揺痕が衝突大き しては色々やいで見るが中々全 三にも出来る事があります、 離するものでせら 皮膚面に傷が が多い、時とすると無限のない ものです、首脳手足等に出來る

【答】瀬戸病院長 紫星 15(昭和4年•東京帝大小兒科講 閻 Ŋ 섳





におほひをした後取出し、揮起曲

がしい防水布になります と蒸売させてアイロンをかけると

ウジ虫退治に

影響してゐるのではありません。原因でせらか、耳の方から瞬に、いつて治療中の者ですが如何な

ら、一騒人り戦し度い、何辛、日 今所ここ睫らぬやうに今のうちか

夏蜜柑の皮

用、動作に病館膨胀、網路がなけとけ云へません が日中の 精神作 の見重は往々あり、必ずしも病的 (答)野崎博士 こんな部質 砂削には起して臭れるやう。 『よろしう御座います。どうか御 と、言った。獨三治が、

床を取らせて、食事が終ると、交 と、家の満に聡明け、一楽に腰 生傷に、その 儘服 入つてし まつ

せん、夏ミカンの皮には四層化炭りもよい上に絶對にウラが湧きま 耳炎との職無は明言出きません れば心能ないかも知れません、中 讀赤樾

べんなくひろがるやう、まいた上

品でも、脱い方がわるくては何に もなりません、上からたマ投げ入 ◆……但しどんなによく効く薬

言治に起されて交兵衛が服を費ま して見ると、すつかり昨夜の通り その日も、陽が西に傾く頃、頭

を出た時は、もう器カり暗くなつ 道の難三治の出して異れた提打を てゐた、しかし、一度歩いて馴れた に支便してあった。 態で、夕在も終り、爛三治の家

陰火の立上る方も

で、交換爾を引き止めたが背き人。 て、ツイ、トロイト・語を開いたばかりで斎くなり、再一味いてゐると、鯉鍋頭を引き行を初め、人々は、妖炊の「さらなものであるが」 度でも出出けて見る。就いては、 『妖犬の正體を確めるまでは、何 て、ツイ、トロノーとしてゐる ちに堪まらなくゴロリ機になつて 味いてゐると、脛鍼がさし

術は、頭から水をあびせられたや ドッと吹き下してきた風で、双兵

い、陰火が立つて ゐる、又 吳衛剛彌陀さまの姿の近くから、韓日と、郷が付き、其方を見ると、 なったやらに思った。 た時に、本堂のはうが急に明るく **グワと一呼吸に水を吞み乾・**

と、起き直り、水筒の口をとつ 楽腦頭正純るせ成完

ノーシンを!

不快を一掃します! **运れた様にこれらの**

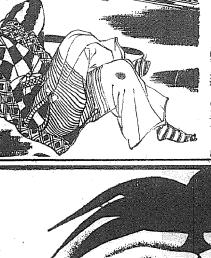
論安全無害ですから常 とよくし、心臓を強補 とます。又胃脇には無 の変養 備築として理想的です

> 金山路城 九州郵船本式會社

全國薬店やデバートに有り三十銭。五十銭。五十銭。一円。二円

樂價





ナタチタ、ヅキヅキ

クシャクシャした時 嬰がボンヤリしたり **復勤等で疲れた時、** 讀書、研究、裁縫、 カンガン、痛む時

スグに一服!

めまひをした時など 人いきれでのばせや **汽船、汽車のよい。** 酒の悪酔、二日酔、

代理塔野口商會

大月四日 大月四日 大月四日 大月四日 大月五日 田 東語二八番 大月五日 田 東語二八番

大月三 日 大月三 日 大田田 北鮮 西船 品 河津出帆 代温店 医原连输支压大方二 日

嶋谷汽船株式會社

を作つてから俄然日頃の努力が費した、昨秋の神宮大館に日本記録

雄君(頭海

待望の名歌手

キープラ來演

來城する陸上選手プロフイル

日本の精鋭

年大阪に於ける日米蜀旅には金には目襲しい郷塩振りを見せ、一昨

产 審判率

患

中等籠球リーグ戦

田島直人君(脂)

900**00**0 9+90**0**+

(制限時間各八時間)

寫 翼

原田正夫君(點

01五三















しくなる季節や美味しい時機があり、 總ての食物にはそれ~~「シュン」

Ø

あちらの千葉早智子さん

一母なればこそ」を撮影中

揚茄字の南鬢卸かけ

ひとります。大根はすりおろし、齊唐辛子は脚で離水に十五六分漬けて水氣を一々布中で祝います。 は 2 は 2 は 3 に 皮を剝き五六分厚味の輪切にし 切として大根おろしにませ、醬油、味の素を加へて、「南

日十五六分後してアクを抜きます。 蓮根の皮をむき二分位のアランに切り、 酢鹽をまぜた水の中 てよくすりまぜ、更

点出汁を加へ、鹽、砂

へきす。

を下し金で下して、食パンを極く少し水で搾つて小さくちぎり、よう。若ります。







Recent and the committee of the committe 6—M

蒸器に入れて軟

粉を煮出汁で落きまぜてから、更に玉子をまぜ まぜ合せます。そこで沈し籍に濡れ紙を敷き入れてから、な人れ、味の楽、鹽、胡椒、砂糖等と裏漉の南瓜を加へて充み入れ、味の楽、鹽、は、 くむしあげ、冷ない中に裏遊にかけます。南瓜の皮をむいて適宜に切り、熟器に入れれる。

糖、味の素で淡味をつけ、

大和芋は皮をむいて摺り卸し、砂糖、鹽、酱油と味の素を加い。

灰に蓮根の水をきつて、少量の胡麻油で炒りつけ、被る位に

そこで辨當箱の如き器の内面に、胡麻油を塗りまぜた材料を に盛り、青海苔粉をふりかけ、紅語め、蒸器に人れて約二十分開落

この材料に ひな方にでも、これなら喜ばれます。 トーにします。馬鈴客を賽の目にでも短冊にでも切りバタでフラ かけて出します。グレービーがきれいなどろくしにならなければ へれて火にかけ、スープで少しつゝゆるめ、どろ!~にして、臘、 き、三十分位焼きます。 ・の三品を選ぜ合せ、卵をつなきに入れて、鹽、胡椒で味をつい、中身をナイフの先きで繰りねきます。別に牛の挽肉に、玉穂で、 中身をナイフの先きで繰りれきます。別に牛の挽肉に、 生物で

+

着々鮮内制覇を淮

改組問題決せ

到着貨物の一

滑來增設の意向

頃實施せん

7相より村井總領事に對し

一度の折衝方訓電

利喰一巡

劉正國四獎四

互項製鍊所

九八七以白米三〇を大豆三五〇〇を大豆三五〇〇を大豆三五〇〇を大豆三五〇〇を大豆三五〇〇を大豆三五〇〇のでは、一八七以白米三〇〇のでは、一八七以白米三〇〇のでは、一八七以白米三〇〇のでは、一八七以白米三〇



新の具體化

職を集めるに主 の人恐ち人見面 上に飛んとする日

武藤書記官は語る

配成をとるとは怪

子の老人の祭り 先生にやして美 北社ひ老人とは 川支げへと領拗

かり幽野者を射 たところ▲老人

よけふ公布さる

拓殖株式會社令

一個日全郎変兵

痛みと

凝り。

るとに決定して

十一兩日

議兵 分

局長らに訓示藏相けふ地方

者は職種終了を 、無關後、地方 こて今後の革新賦 めつくあるが、 動数目に配に今後の既然

賃借替

北道の刷新につ

が、筋肉の深部に故障のも…とにかく皮膚は破れない打つた、挫いた、腫れた・

か炎症が消え去るものです ルを擦り込む、いつの間に るときは、すぐサロメチー

る塗り薬などト違ひ、深部皮膚の姿面のみ粘滑にさせ で、炎症を解消させるのが 筋肉の奥の奥まで滲み込ん サロメチールの特長です。

学る五分利國印 でめ、これに網 のこの分半利能勢

度、十七年度中度行を以て昭和

ばれて居ります。純白の清潔な夕極痛、腎の凝り、などに非常に喜その他お年寄りのロイマテスや神

歴史である 解省(金四日)

いつの間にか痛みと遅りが消えるすームで、カブれもせず、それで ところに魅力があるからです。

ロイマチス

市方は二百萬パー は大月二十日の には大月二十日の には大月 には大月二十日の には大月日の には大日の には大日

肩打神頭 経 り身痛痛

汎米國際法廷

設置案に反對

火の回答文は

つた幌島山を書 中を五月のある

おでき・くさ 膿の出る魔な傷、殊に癒り

の遅い古いキヅに良効ある ドイツ製いで・4・D外用薬 非常に早く腺汁が乾き新らしい表皮が出來て繰ります

MT M 姚松魈树

東京・大阪

瀬店にあり 五十錢・一個 店

な町▲その近代 とは下ら四立派 とは下ら四立派

研髪用のカメラ ぶイタリー般の

いと飛び出した

パチンとやった

老人怒もまい



東京 大安田 漫画店 東京にあり

英米兩國の暗躍に

日本の打撃は依然

用の無電局設置 警察の迅速化専

ーテン・ク

思想史は見た日本人の獨創鷄縣級黑田 政界夜話―政黨は何う動くか 悪 虎の門際士

北支の經濟的價值…頭藍星層点。澁谷禮治

**左傾・右傾といふことば鴫

藍鉄</mark>鵯 飼信 成**

明治維新と昭和維新

基型 街田秀雄

勇

六月號(第三百四十三號)(東海南中繼)

| 特別議會論戦の跡|

世 釋尾東邦

朝鮮官界大異動中の人々

| 解展第二部及第三部の短評

尿城醫事の展望

■鮮展第一部管見--

· 木梨靖彦 通田運雄

苑南隱士

記

桑类西禪師 開鮮の野談を語る

曹成高等曹通曼校放諭 安 藤 乾 幽

工 一 動想

西に勝美・東に定

山本三平

發行所 朝鮮 及 京城府蛤町(西小門外)

風聞駄話……

鮮満の財界と事業界

· 宣官界異動表: ■編輯室より

鎌倉保育園支部を訪ねて

新版紅毛干夜一夜 洋行打明け話

巖竹中三

吉

本誌記

鐵塔開人

3755 は^に エク 林耳専門藥學





烈な科學戦

本宮、咸興、興上を舞臺に

丁度新に滑動遊憩田撃塔が戦みらい従来大連から船根されてゐたが 「清津 】 輸出向の北海底大豆板粕

北满大豆板粕

諸兵聯合演習展

成を待つて本引機ぎを行ふこと、一目立つて確えてゐる近く内鮮誠の 込みで飛び器で作成中の地融の完 |とも各十二、三道あり殊に野治は

航空メールが光質すれば一層この

のやらに一蹶また一蹶と縛につき。| 呆れ戯で、一日早留も内鮮人から。| 菅内にぼつ間監計品量でま宮下目流石間の顔波速中も除へ上り運目 | ての歴やかな厳密風景には當局も。| 興島岸まで蜿蜒五十里の関環線を

朝鮮人が過半を占めてゐるが内地一が必要とされる所以である農事詞

をみせてある。優野されたものは「増加せしめるには驚撃者の取締二十八名に対し二番する優勝版群」「翌朝事業が行はれ管觀の質上げを一

旣に百餘名を檢學、罰金四千圓突破

汚名を重ぐ

人も十敗名あり老若男女人り混つ 国際 (三長から七里上流) から殴

江原道の林産

金面機の八割を林野に占一【選基】開膨十五間年記念袋は一一金四千圓を突破し早く

國境の空の護りに

近く偵察機飛ぶ

陸軍航空本部に讓渡交涉

平北の警備陣強化

はお腹に蟲學童の八割

公村雄基邑長

陣容を建て直 積極的政策を樹立のため 近く議員會を開

館では飛掘時代を迎へた質解の中一物所の設計を急がしめ完成次第記

基は反對

政策を乗て、積極的に大陸原建設

理局小澤副局長が雄ぷへ出張關係

で方法に於て鑑削と懸りなく卓頭連幅に代行させることしなつたの 港同一の既定方針により

早く英姿の出現を待望されてゐる て所外に 逃走したか、一それとも

てゐるが、犯人は蘇脫網を潜つ

元山の强盗

優秀な飛翔力をもつてゐるので十

難促語八木五郎氏方を嬰ひ短刀で「で脅迫したところから察し某方面「た」」三十日未則所内上里一洞 二人組織統は 何れも帝朝な 國語

る、被害者八木氏の陳述によると

の手間りなく當局を焦慮させてる

職の花を突かせた境頭作業の演響。 国際迦郷所頭事が所には罪たに開れてその是非につき触蹤業部が敵 との際見をもつてある。 なほ一日から二濃崎頭餐業を明始した、か る

た頑硬では既報の通り去る一日

満鐵委任實現した

清雄一港の荷役賃

なき地の

概を語る

蓌

動

機界の明星

美の

ることとなった 五日経の緊襲が 五日経の緊襲が

海耕華最高優位入選

那工商田吉 株 元 造 型 大 産 大 産 大 産 大 産 乗 大 産 乗 大 変 表 大 変 表 大 変 表 大 変 元 元 か ここん ごくん こく か ここん ごくん こく た さ くん さ くん

平郡守に

『僕も大い

飲みますよ

朗らかな山下さん

場馬 / 杉市山歌和 橋町京邑西市阪大

部品菜虫厍社會式抹物晒油南

はなりとか、防火口計時

習で人質したこ 解で開催、参加 ・ 参加 ・ 参加 ・ 参加 ・ 参加

令、肝

動を命ず

日午町十時知事を初め郷旅師を

名薬反魂丹のいはれ因縁

ら開けば客が融合よので待遇が思しら、一選して遊覧バスで市中を取

片山津温泉の風光

題級であった関係工具の競技につ

議の

赤

布毛記

着川」探楽頭では一日午後上時

盛んになり昨今では一日平均翻石「十三四三千百三十七行となつてを「三分でこの外組私総費の選収も鑑」から選択の器具を公覧したもの)「金鷺」航空部側の利用は追々と「医における貨融の費上層は五百五」く)に関する一人當り平均は九代 一萬三十一郎、仏蛇燈館(総総器)

一姓己 間點類名局「内康憲一年」り、人口五十九萬人(安國縣を除一三十三萬七十六百四十七斤、

年の檢學數二千二百件

間島組私局の苦心

繁榮會から

航至整使の利用は追ぐと

祖郎

やはり懐し

江原道に返り咲きした

瀬戸さんの第一聲

一名の敗還を一日午前九時一の結果左の諸氏富選した

評議員を改選し

優良店員の表彰式

どうぞ御鞭撻を

権重植氏の一初放送

火がつく

複化體となって観見されたので

常時商工業者の健康打診

でに特異の存在一

刈取り期として農家を質励する

昔刈取り明始廿日完了に比し、成熟ら不揃むなので昨年の六

西公園會館

清州の簡閲點呼

慶南の麥作

美装凝らしてデビユ

~七月一日華かに店開き

さあく、皆さん御利用下さ

一や電点散備の真つ最中、一番苦心」とれるやうにし、ビールとかサイ「盤明得を宇貞總督、今井田政務總

一覧、本府各局長、柳生顯點縣長、 商率法院長、京城位都法院長、

関人は佐々木が之助、安部早

初日水組の

た結果で基準に向へば出願も激増しあちこちから聞えるが、所営策の

これる來月店開き

完全に境策され設早殆んど豫定の年来河川改修の恩恩を受け駆跡も

一般大君の 勿識この謎くましい判談は間を歌きこの 御早連局出験隊長に報告、 気内は

を超す昨今となり、水を禦玄魔は「貌を一腑したが、頭に三日前線の「て消息なぎに地元度は愛慮、今回「知せずにゐたが、廿九日觀蔵から「事は八日真山常へ出感、智慧趣を民苦敬なく能つて最高番氏三十度「鷳し驚明鬱を襲義し、よから丸巷」地調査があつたが、その後査とし「言したので、采入も或失程には通」【青蝉】清州、黒州南法殿文総殿

ので六、七の南日に亘り未散収二

愛見を殺害して

不仲の夫と別れたさに

どんだ家庭慘劇

五十個を電頭に版本申込みあり節 製剤方法の表別常四板側は玉脚像比の三千三百 盆いであたと、「馬山」中県投資設計で金朝鮮倒 でも被害各戸に

の子の現象によった。 日一代勝翼と共に身柄を総養健事」との目標を突破するとみて院庭にの手の原象に対象を悪いている。 日一代勝翼と共に身柄を総合地とて来る。 たいが何の大名 に破壊されな調べられてゐたが」 をあげた常島では地騒戦一進五千組郡北東面生れ郷日水(二)は内地 記を採用する砂泉で収断し戸郷郷 た男女は二千二百名に達し谷歌雲組郡北東面生れ郷日水(二)は内地 記を採用する砂泉で収断し戸郷郷 た男女は二千二百名に達し谷歌雲組部北東面生れ郷日水(三) 対すの総輸集関ー金属相 民は同面内側原信より数年前面景 ソドで初日を駆行したが押し取け 思客引にだまされた男の ス像防注射 一際の効果に扱いてるため目標を実験するとみて際受亡

知らすなの遺言を固く守り通す

その他不事から質励となつた遊散。る繋から見れば多額の飲金で概む のところ本年は九千国に破じたが、側は撃板吹きで加算すること、な せば、十年度の客厭概九千五百國(金を貢ぶことであり、一方朝鮮人

を直鎖となった。その西野殿六十一京に縄の増縄は近く異塊をみるも



予分羅眉琴岩列車で到着

戸田氏は首位當選

十時から原協議質を開催 照神到深、志検魁に配路 七家族二十六名は去る二十八0 【羅津】本府斡旋の南鮮労働5

湯纜斯水

対圧管。

不朽不变性。

朝鮮總販壽店

三和商曹京城支店

京城府永県町二/七六 (電話本局四八〇一)

仁業用 開制管用 所管用 用用 所管用 用用

主幹庭球選手権大館の檜舞楽に出場すべき忠清南北南遊代表 島吹式庭球界の最高峰……六月下旬、京城で開く本社主作

酸。対アルカリ用學研究所發明品

塗布にて足る錆止用

力

(塗料)

を驚かしてゐるが、必然的に地質一金質以上困難を招くものでないか一一町歩も全滅し一粒の牧権見込 廣州の緑肥

上川の納稅

赤十字社朝鲜本部病院服 医学等门学校附属医院服 京城帝国大学附属医院服

科科科

定指御

(郵便局前)

日 加で商人の景質のよさを製造り、と大売ないが、総額は料一割の増し、七千二百五十七回、人段は前年度 度音楽が第一期分は調査人は一手

全江竜宗

工鲜各官公私工 胡 雕 科工公 铁道医院

立度""

科院科科

丽獎酮

院院

派を樹立し堆肥を翻窓前に登場

は

籾

鏡店

京城本町--(郵便局前) 画本②50/18 116 自京城346萬

内民 に贈

[仁川] 吉野競技の長は着色早を一

山スリバ

· 田月営業月報設行: ・ 卸と小賣• 通信販賣・ ・ 編督市城 二〇三

街街街

金剛

一岸天佑

では、 が今度は配務器には直接関係のない。
第の際と質抜に近づいて來てゐる

B

藍絵本電

(都不是)

楊の字及の教と

₫_ <u></u> $\mathcal{I}\mathcal{D}$



舘開築新

洗 ラ 電 閉 嬰 各 面 チ 風 選 所 オ 語 機 房 共 釜山府大倉町 卷山郵便本局農

テル 御食事







級髙







































































中山李後片保田

て領航を練つてゐる、記書を翻訳

大電牌しようと繁盛業が自になつ。な緊張を示してある。一つてある、測量朦朧が遺路を挟ん総数の明通と解語に、駆用八乗を一つけようとする運動も起り、異常しく、未聞の狂麗道らしい電分が激

つて行くほど禁制なしいものもだ。十余日の登坂をいるはうね~~と、部番から編本世手の一覧の最七二は火田が蹴々と觀いて、山鉄に入。延탁しようといふのである。上下、行くと、温泉脈の駐电子の金笠里

| 記立急調な途段を並げて来た原州|| 包呈て原州を横塚、横端本で延復 事んであた | 事が元太京果郷道駅帯と現に京春 事が元太京果郷道駅帯と現に京春

が歴史される様なことがあつては

(五)

くなるけれども、それでも沢耶を

百十キロ、京金瀬より六十キロ長

半島の寶庫を貫く中央線象定地縦走

一歩江殿道に入ると無嶽の麓附近一日米の雉嶽山脈の中央部を経道は「岩石のごろ

で兩側の山に翻つてゐた、海拔六つてゐる、測量隊就が追路を挟ん

鐵道開通近しで地價が鰻上り

測量隊は廿日引揚げ

ら初めて國庫補助が認められ、現とる朝鮮の青年訓練所は、昨年度か

新畿申請が終砂局に来て眺鬱縣で「緩削しこれに植物を繋っる部であれ寅舎に建し、た住間本各道から」の翻席上、当書リーを所の新設を

自力史生の興面連動ともなり生品

よりつめる、行歌を越えるほどの一人が宗典した、披露面事務所に打一

活躍中の調量の状態を聴くことが 合せに行く途中とあり、はしなく

来の取引は必ず旺盛になると大き

かに一年八ヶ月の殖蝦支店でも將

私立十)關係職員も百名、生徒二十一軍役兵中であるが、本年度は慶算

は目下申商中の卅四ヶ所につき頃

在は金酢で七十二枝へ公立六十二

中堅青年養成に努む

村、中井、池路(県)

者、既私の世校養市高等の先輩、八十七列瓜で簡繁體間物識、關稅

春田總務談 一日東京を

雨乞ひの農民を狂喜さす

たがこの雨まだ本格的でな

仁川観送所な芸像の話

會員全額を添へて京城旦報祉事業部(電本局一、 ▲大物質=三等洛▲數質三等迄以下等外質を呈す 二本以内とす(長さ自由)撤餌は自由 動車質、鉤料、食事三食分、一切を含む。 日夕食は各自々辨のこと)

泵城目載

悪みの雨

と平曽地方が懸げば、平北一帯はしくなつて來た矢光、惠みの雨が 仁川雪話] 十五年來の大旱魃だし、都曾人ですらそろ/ \雨が続

問題付時の

設付を極度に

脅か一は

が頭午後から

泣き出した、

以下

まつた、平北雲山、价川地方はして半島中部以北を雨にしてし

先動脈と共にベルリン遠征の途中

をして午後三時州分録の「のぞみ」

脂粉、高木濃藍那無務の雨

鈴木房重君らのマラソン選手 関、簡昇旭用君を始め鹽胞主

であつたウオーミングアウブは 時から京城グラウンドで行ぶ等 期鮮超宮に鑫拝の後、蹇正品専 別計超に表揮の後、蹇正品専

直接ベルリンのオリンピック村 選手表陽優けした簡単な面に決む 総、一路北行の豫定で、コンが悪くならないかと心配し に入つて練習すに担資をきけば、四 京城看一部の上、十日午後ことになつてあるが、役の主 である、九日ことを通過する選 に耐くならないかと心配し がアガらなければマラソン世界 課途、シベリア総由で、てある、九日ことを通過する選 に対くならないかと心配し がアガらなければマラソン世界 課途、シベリア総由で、てる。九日に入る一種の上、十日午後こで、大宮 (夏県点話) 我がオリンリンへ向上、ベルリン着は十六 に入つて練習をする言だ、大宮 (夏県点話) 我がオリンリンへ向上、ベルリン着は十六 に入つて練習をする言だ、大宮 (夏県点話) 我がオリンリンへ向上、ベルリン着は十六

任初は絶對自傷がある。 「向ふが、途中九日午後二時二十分 がすがらなけばにすうソン世界、驟經・シベット統団でベルリンに 「スを認めると思ふが、各選手、「歴の鑑は來る上日午後九時東京 をに對くとも三回位は正式のコート画の鑑は來る上日午後

【題は点話】我がオリンピック

京城で一泊

七日に東京發

溫陽溫泉入浴

南君ら懐しの郷土を通

物業田俊彦、佐藤

を休めた。 同夜は宿舎でゆつくり底の疲れ に取止めとなり

而る首位打者は小笠原主將

で

雅級均遜信第二回戦を以て完了し

た、戦闘を見るに確認は最後の場一 職となった、なほ百位打番は猟獣 一位、髄勝率は別項の通めで結局 一位、髄勝率は別項の通めで結局

信最後に勝つ (宮翼は優勝の強銀チー)

職賞富選者近く發表 蔵を行ひ、正月中の本紙スポーッ 駅小笠前一本件教施展一選信 盛主信位打式上旬前切ってあるが は今中島・島宮、佐田・島田人数 てきるよ月十五日前切ってるるが は今中島・島宮、佐田・島田人数 てきるよ月十五日前切ってるるが は今中島・島田人数 てきるより十五日前切ってるるが

要量に地する意味込である 既の緊要なる時勢に舞み、順年度 は更に陰原を調大し各地の新設

更に拍車

から、牛島民衆の近幡即も角弾祭

恐るべき自供 府七縣被害千萬圓

際字和監督の手に依り磁域されて 以来、厳重なる取調べを受けてゐ 縄これは、生る石月二十二日変態 來西日本一帶を職限せしめた飲火

たが、建接船下に於ける松山市外 後の限るべき艦本縣下に別場切割 一先づ提出機務所に参議、教書、饗物等計二十四件及び「事件をすらすらと自供した

はまとまつた町だ、平野ことな一する京東新郷計道の富地路直の途一大総だといふので、膨州、楊平間

なごなのでは、 なごなのでは、 なごなのでは、 なごなのでは、 なごなのでは、 なごなのでは、 なごなのではないかと、 のではないかと、 のではないかと、 のでときめか のではないかと、 のでときめか のではないがと、 のでときめか。 間に出嘘はしてほうかくの態で退 み用地を斡旋したいなど地元の陳 夜飛行で進められてゐる。英事が一 とであらら てゐる名勝地もやがて世に出るこ

賦し、金と武器の避康と産業地帯登山から中央線で朝鮮の屋根を縦

の雰囲気に包まれて最気のよい野 でも見ながら京城に出るとすれば

販賣店

特製 食料

當

選御禮

新奉候茲に乍略儀以私上御厚禮申述候 敬具 禁を得候は偏に有權者各位御同情い賜と深 秀次郎氏を推薦致候處最高點を以て當選の 今回仁川商工會談所議員候補者として吉田 推薦者 阃

輕い練習は雨で取止めて宿屋で休み

ストを語して必ず期待に副

(パリに於て) 九月五、六曜日に 出場、同月二十三日には日帰獲技一酸者の度定である

ら廊十日までオリンピクタ大館に「耐七日ベルリン館、二十三日東京」「卅一・二、三日の五日間のへは七月二十六日着、八月二日か」は日海張校(ライブナヒに於て) ◆……線けたのは京塘廳で甘丸。

九十銭といふ数字を示した

HYP

41

M G GRANGE THE AND A SERVICE OF THE ADDRESS OF THE ADD

女

第一日塩井醫院 はおいる

禮

店 米克斯茨岛區

在確果中居扱のまる格安にて選

名 fti

d

※ 京日案内

醫

師招贈に歴史

姓名在

クラウンドの不備を構ふ書である 延ポコート側の高地を切りとつて 木のコンクリートの壁で巡らし、 一萬圓を投じて敗送されることと

たら一日百尾以上も約2位で想際以上です。しかも温泉で展覧を左記によって開催します。釣り塩は神井湖で切し上手な人でしを左記によって開催します。釣り塩は神井湖で切し上手な人でし

能正習漁の使り避々として到る温暖過水で最も興味ある動動り創

神井湖鮒釣り會

慢するといふ的人 連進高丈の脳しです。

同好の士の参加数型

、日記住、八月六日(土)年後四時二十五分京城縣裁――年後七時温陽看、紳井部宿泊――七日午後七時温陽一、一十五分京城縣裁――年

笹の貼があるので本町署から圏 尽城光照町二ノ二八館屋金稲窟 女玉薫(こ)は二日午後七時頃

時から屛聴で多田、田木、大倉、 事を行ぶことくなり、三貫午削九 | 行題のため京城府内をねり歩い

可然點立し 東光三二四、環膜水道瓦所洗帽区一面侧 (四碳細樹) 水道瓦所洗帽区一面侧 (四碳細樹) 水道瓦所洗帽区 一面侧 (四碳細樹) 水道瓦所洗帽区 一面侧 (四碳細樹) (四碳細樹)

事務,與新典學的工作。

閳

突然姿晦ます

班頭山田縣 "心过" 日午後十時 を主に調べると現金八十一個がた · 成队他町,七三中川四店支贴 言語でしたものと、細胞

本山へ榮轉

やはらから

松澤ホーサン

石線

餅本 いろしお品か

店商釋松 社會名合

鬱

H

肌 を保て

放火魔古川は送局

で霜京城府野甘館戦地さんが豪

族同館で人城すると、すぐん北

薦を忝ふし且高點を以て當選の築を得候は

今回仁川商工會議所議員候補者として御推

當

選

御禮

賜と深謝奉候茲に乍略儀不取敢紙上を以て 偏に有權者各位の熱誠なる御後援御同情の

御厚心申述度如斯御座候

敬具

昭和十一年六月三日

浦上七三

生

知事から、主職となった時間哲郎

豐富 女價で 門合ひ

御

禮

族茲に乍略儀不取敢紙上を以て御厚禮申述 各位の熱誠なる御後接暉同情の賜ミ渫謝奉薦を忝ふし且當選の榮を得候は偏に有權者 今回仁川西工會議所議員候補皆として御推

度如斯御座腰 敬具

昭和十一年六月三日

柯

寬

東京日本福

意味に取れる間ひ方だ。

あきらめ兼ねて云つた。

撤保なして

中のしやる大無味でき

步

けに賛成出來ない、こゝは五八いで辛振したのは深い自信確信

步角王

香桂銀

步

▼六七銀上る(分)

金易二郎

步

▽六八八番 ▽六八銀歩(10分) ▽六八銀上る ○10000 ○10000 ○10

『では、父の機能を云ふことにし

もこうお考へになったり、迷ったたかに 由于側近の 金の形だ。 何

流石に防戦も後はいか違る。

『態像にすると仰つしせるんです

はの 山北 三 産は高期であり に ますが、一条の二 張と廻つて敬 に 年の上 祭の二 張と廻つて敬 日 年と男く駅が出来るので妻ぐなど、 5 日 マラに思います

「はあ?」岩石は、樹葉を見下ろ

席

1

挿話~ 龍子

しかしながら、序盤の作職に當 かりである せいれんがら、序盤の作職に當 かり 生も状態せられてんなやうに次反と

『岩谷さん――』 周載の瞳に異様

待時間各七時間

消費時間

▼▽一時間が分分

と締つて、パニエなら四六十/全 いて三七年の終れ出しを利しながら敵の應手を観る方が攻めの味が あつて位がい、のである。 山北君の上四世の突き出しは常 然である。依に二二衆を選つて向 常飛車の形となつてゐるので、敵方 生をしているや今こに、今直 だには心配はないが七五歩と位を 変しれる味を残して遺くのは遭か

調を來しては、それは耐時に自分

くせが段をはつきりして来る。

一点色々な

鎌山や、共農に願く三百の坑夫逐 場合、耐太の立場ほどらなるか?

胤は七人玉迄の局面

勘係

郎郎

い多少の無理は忍びます と突き越される懸念がありますか していが、敵に七五歩

新経済気化器

オード・V・8トラック

及びバスは

「持駒」▼飯塚氏

やく立つた爲めに角が捌きに考へて見ると、第一隔に五七れば攻めに利かない。今にな

七七何は五九に引か

機らか重

能属で財政的の酸 もつと手近い、 と云つて、手形が不振りになった 指を浴せかけるやうなものだ。

交職に隣に長い年月に亘つて

二流争弱

M

17

物です、玉を手厚くして後の味をもありませんし、又それは穴の誰

「では、撥保を提供すれば、直に 本紙一萬號記念懸賞小說二等當選 まさあネ、アッハ、、、」 に鍛がつて行くことだけが感じられませんが、チト度胸がなる過ぎ うた職い重い不安が、その心の上れませんが、チト度胸がなる過ぎ うた職い重い不安が、その心の上れませんが、チト度胸がなる ぬものふやうに、ほんやりした深

禁無斷上滾映畵

いた。銀行正面の厚い硝子戸を押 一番へると問家は、大酢銀行へ金

問題は真直に預金館の窓口

同六時(大)意話劇(食べ物の話)

同六時一〇分(東)コドモの新聞

同九時三〇分 寧蓬歌外

拿布

同七三〇分(東)勝漢(議會を通

| 図津々源々に至らまで全関各小型校共の他職々の機闘を通常妨デーは日本では内務省、文部省、鹽海軍省の後途で登場妨デーであります。このむし幽 本日は第九回目のむし幽壁師デーであります。 このむ

日 海 古島四島社園河山

けない事等も話して聞かせます。

神とうたはれし、孔明最後の衛に

して三七二十一日の間、その主題

消えざるときは

まさに盛きな

事の後にはうがひをしなければい」この北斗を記ることない事から頭夕よく選を磨き、食」地にひれふしてそ記

りける

生きたる

べるたは鬱が丈夫でなければいけ | 十年の、命を駆に難し縊へよと、食べるとよいが、斯らした僧をた | れんとす。天希はくはあはれみて

黄河

の流れ永久に、つきぬ

朝鲜正氣停潛所員

同六時(签) お話 孝子

同四時 ニュース 無象強報・管

同二時二五分

同七時 スポータ講座

ケストラ 同零時三五分 (大) 國民歌謠

(家)(麗)(麗)(家)(家) むし歯豫防とホルモ 及び食糧經濟に就

同二時 弱人の時間 家庭と 本よい図 奥田

強強銀行で、小切手をキャッシ

行って、眞新らしい百圓札の東

て手機を選ました上、金はお渡して手機を選ました上、金はお渡し 発の は可笑しくもないことを 適り にね、これで私の方も大震形の心 算ですし、繊悪のある高は的んで - 遊面作つてゐる問藏を削にして れていもあるやうに、脚酸は殆ど その命令通りに動いた。 **電影所では、岩谷にまるで操ら**

一既にたが、さあられだで、

問数は何かヒヤリとするものを

| 同八時 河礁を振く (前後)下・「田翁川より中総 海路アナウンサー 青本 赤次 海路アナウンサー 青本 赤次

ŋ,

ンピック大會展望 **超度新聞莊運動部長 星 野**

つ月 山田帯をいて三株谷道姿所より中郷三

オリンピック大食に幣版されて、で誤声と変めた大窓子鹿で量がく職およびベルリンにおける國際一た、即時に彫る大規模な機構を以

一て豪華を極めた大総合競技場がベ

ルリン市の西郊ダルネワルドを中

の實力とその位置とを従来の認過 大阪常に於て雄闘するに當つてそ に選手を派遣し世界スポーツ界の のスポーッ界が来るニルリン大館

一ならない講をよく解る様に話して

(お) ダさんは二人をいまし

度のかり枕、今度こそはと重みしの資に備へんと金てゝ、こゝに六

す魏の國を、攻めほろぼして建國一 を守り育てゝ國の当め、我に仇な

登ら秋の夜の

は四遷寂として、

客葉病薬過~器

とも、ならむ路

もさてもつれなし世の風よ、ふと

ぶん、あいらは大切なものであり きかせ人間にはたんばく質、でん

来と語れども、そのなきあとを思

を吐きつよもやうしくに、軍務を

四·五兩日 《河》 夜八時

此を

心感りに堪へかねて、

訓練等により強めこれを展覧して

容れるスタンド付ブールや其の他

れるスタデイアムを初め二萬人を 心として建設され十萬の観景を容

|世界に認るべき近代的スポーラ節

全英庭球選手権大會、曲にデ杯

大會への参加協議状を各國に極し

ンにおいて大月下旬墨行される レーワルド機士を伝統しベルリン名の士、今回英國ウインブルド レーワルド機士を伝統しベルリン氏は既に我園運動界における著一長に國際スギーク界から信望ある

界空間の計畫である

たので、二人はいさかひをはじめ

ロスアンゼルス大震に梭べて二百 を派遣することしなったが期回の 一百七十歳名の大デレゲーション

ます」「牛肉ばかりいたときます |と思ひます」と云ふのがありまし ので今にもろく、鳴くやらになる やが芋になってしまひますと思ひ

しはしの酸や酸るらん、蜀の大軍の番風の聲、草をかり腰の兵卒が

に競爭かべてよろこびね、其の安な萎継よと搭せくぜみたる神の職

悲愁の秋更けて、

天も汲みてか我が心、、今背一夜沿しよせて、み上煌々たるこの楚

さの、守備息る

孔明いたくうち喜び、近く姜維をふるごと、十九二十の日は過ぎの

近く姜維を 倶に力を添

師諸萬月間は、武されたりし幼君

いたなきますので、今に身間がじ

一分(大)ミユージ

いーーといつてあましたが……」

――支店長が、一寸お逢ひした

梅生 大阪帝大勝學部長 大阪帝大勝學部長

を受取つた預念館は、神経的な徴

ニユース・天氣見込・職

安息生式 (四) 聖人 を午前九時一分 (東) 朝の修養

五日のきゃ物

同八時一五分(札)倶楽 追分節同八時(前・仙)河鹿を繋く

極く閲覧に通俗的に申し述べて見たいと存じます

同(O肺(O分(東)

亮忠

| 同九時(東)連續選訴 へ(下)

女のやらに、白い手でその札束

雄な笑ひに濁した。

こうらうご、ヨットでように表。 一句で勝五五分(東) 恵味護道、底いや、どうも……』と、後は縦「同六時二五分(東) 惠味護道、底

書してある小切手を勿瞪ふつて取 革の紙入れの中から、五千回也と **飛込んだ。** 飛込んだ。 出した。小切手を受取ると、固蔵 手間を終へると、結合は、

かかけてるた。鎌山を指行の機能したかーー歴数は、金融な戦闘を失

▼……当右すべきか、左を行くべ

岩谷は、何處迄も人を喰つたや

…でなければ、困ると仰つし

銀行の交換手の登に、勘載は周 商金像へ……の此方は

東

同七時〇一分(東)朝の修善由 方へのエユス・氣象連貫・ 万人 京島 同一時 ニュース・氣象連貫・ 万人のエユース・(京城) 同七時 今日の天氣見込 | 九山順太郎 | 九山順太郎

ピアノ獨奏一放送

東したことさへ、自分の肌り知ら 上の空で聞いてゐた。自分が今酌

一英五名干閩町後のものと沖潰さ 上機械の岩谷の県舌を顕微は、

はあるが、脳利貨、 問題は、そのまく自動車を、大郎 十分の時間を呼ぶやうな場合で

脱金を持つて自動車で行きますか (新撰の弾り合つた一二)分だつた。 だった。微かな不安と、ホッとした とをいつてしまふと、電話を切つ のは不安だし、間難はいる丈のこ 聞もなく出て来たらしい預金館 かつたが、それをはつきり聞く 何やら、何ふでも云つてゐるら まつた。版面版所を引用らせ カ 同九時(東)衛生メモ 同一の時三〇分 実験演集 むし に 同一の時三〇分 実験演集 むし に 同一の時三〇分 実験演集 むし に 原本のとかたギン及が食料銀房 で換資防を調査を調査 が出 機

同二時 スポー の風、時雨苦射作祠、榎本芝木 午後零時〇五分・東・琵琶・五丈原

四日の番組

木曜日) 一放送

同九時ICO分(東)時報 時(東)連續講談 他 青榮學校男女生在大勢 加羅子 村瀬 幸子 腳 子 森 蘇子 影 子 森 蘇子 一龍齊夏山

○年のオリンピック伯林會議で第 多年態 してるたドイッは一九三

で墾行されることに決定したゝめ | 國大館が一九三六年ベルリン

回オリンピック組織委員曾

ルグ元職をバトロンとして準備開一された冬季大會を序曲として世界

|の支持によって組織委員・歯は委員||して大日本機管脚節は大僧参加の||今――匆|| 総ヒトラー首組| ある、この翳の第十一風大部に関

ク開催の工作は極めて順調に進め 大筆間の窓は切つて落されたので 電 に即然版の組織と

|関大語に對||云三郎でそれんし最方を書きまし

子は『私の兄さん』と

見たいと思ふのである 制活大の、話が欠食べも 食べも それから隠襲、ヴイタミン、カル

びなくてはならない、皆はカルシ 野菜果物も食べれば、交魚や島、らなければいけない事即ちお米、 牛の肉等も食べなければならない シューム等といろ!、なものを攝

ならない。

一陣の事実に祭品を設け、わが命に となぞらへし、主意をかこみ點々

上屋を祀るの一策を子

ましたが、本年も北六月四日五日 の午後八時より八分間川瀬にマイ ますから『河鹿の錐銭』になるわ クを据ゑて暗聲を飲送することに を八分間放送することになつてあ

くまたゝくばかりなり、突媚わき のみのキラキラと、鍵 ヤ夜はとひし は絶へにけり。近に撃もかすれ行き、そのまく息

-

あります

來るかといふことの薬にし

退田す、孔明なほも織りたつ、姜 はかられたり、難延よ追ぐて蹴ち 酸すべし気度にわれも守らんと、れに代りて幼科を、力を確しく守 戦やさしく能すれば親延すごうく らせよと取組したる標もなく、言 の挑配は姜稚と汝に委すべし、わ 継をなだめ申すやう。われなき後 敵将 仲運がさそひの仮討と が最も影響的に最も乗しく旅行田のなどを申上げて如何にすれば膨緩のは、などを申上げて如何にすれば膨緩のは、 行の種類と記述の極て方』『成行 光づ『旅行の文化生迹』から『旅 思ひをすることがあります、私は 思った程楽しめず知つて不愉快な ン如何によっては除分の費用を使 た、然し楽しかるべき旅行もプラ 海に山に旅行の好季節となりまし つたり、或は土地不案内のために

語かけしたり、姜維皆逆立てと、 なと引扱くを、孔明軽く押し止め が陣をためさんと 非ず、我が命数の盛きしなり、是主心すでに消えたり、觀黙の罪に 非もなしあゝ是非もなし、われら

配さへ仮征数増して、倶に力を添しやな、天澄みわたり属も配え、

明け日は暮れて、祈か

りのうちに寝

毛利元良

とき、端が謎の無かるらむ

製造にてありけるが、何うろたへ のまでる大粉は武脈人に磨れし めきて、おのが偏へを眺めける。 けむ、夜間々々と呼ばはりて、祭 をおもふとき、この思用をおもふ をむしりて地に泣きし、この思臣 やけど、風合えわたる五丈原、 想ひの魂をのせ、岸の小草にさい

旅行の菜

商 自動車商 本 店 楠 會 京城府岩草町大通 Ħ 會 瞂 鏡 Ŧ. 大 商 商 會 丸 全洲府本町一丁目 油 淮 胎 雅 生 町 六

平南

1

ウ

商 40020 成與府朝日町一三六

エンヂンに標準装置さして取 附けます

斯界に經濟の新標準を樹立し

新設計の乳化器

は他にあり



ォー **F** 特約販賣店 フ

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 ^{釜山府祭町一ノ四一}

田藤川窓道へマイクを進めて献し、明真放送局では昨年七月上州下口

一を贈く事が出來て興趣ほいものが

けです。異つた二つの土地の河北

さらな壁で喘く河鹿の壁を放送し が削湿の搾りである

場から進からな所に淡流にもまが ふ大自然の聲を始き得る所、 仙臺(福祉市より中華の) 遊出アナウンサー

較